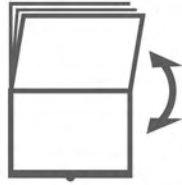


壁に掛けてご利用いただけます。
壁掛け式【保存版】

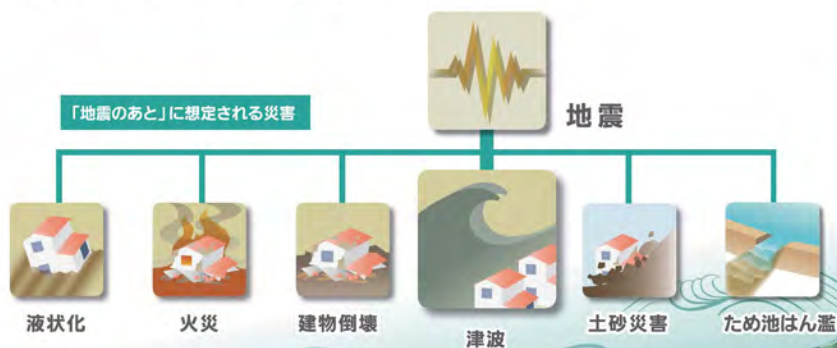


南海地震津波から生き抜くために



大月町 防災マップ

本防災マップは、南海地震の発生で想定される津波災害を主とし、土砂災害・ため池はん濫など、さまざまな災害についての情報を事前にお知らせすることで、住民のみなさんが受ける被害を最小限にとどめることを目的としています。いざという時に備え、自分たちの住む町の地形的特性や想定される被害、防災に関する各種情報(避難情報や気象情報など)を知り、家庭や地域で防災について考えてみましょう。



南海地震における災害想定が改訂されました

南海地震の最新想定

平成23年(2011年)3月11日の東日本大震災を受けて、平成24年12月に現時点で最大クラスと思われる**地震・津波についての想定が改訂**されました。

高知県では、南海トラフを震源とする巨大地震「東海・東南海・南海地震」が発生した場合、建物倒壊のみならず**地震発生と同時にまたは5分程度で津波が襲来する危険性**があり、また山間部においては土砂災害の危険性もあると予想

されています。現在の研究では、南海トラフで発生する地震のうち、南海地震の発生確率は「**10年以内で20%程度**」、「**30年以内で60%程度**」^(注1)と予想されていますが、いつ起こるのかについては現在の科学をもってしても正確には分かりません。地震・津波はこの想定どおりに起こるとは限らないため、あくまでも可能性の1つとして認識していただく必要があります。

注1：地震調査研究推進本部公表の海溝型地震の長期評価より抜粋【算定基準：平成25年1月1日】

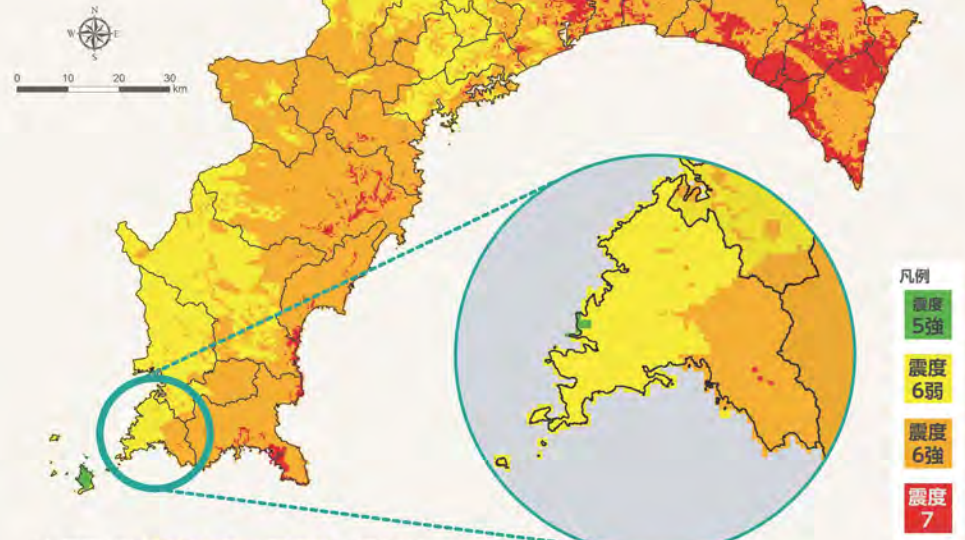
■南海トラフ巨大地震

参考：内閣府(巨大地震モデル検討会)作成より



■高知県震度分布図 (最大クラス重ね合わせ)

出典：高知県版第2弾「南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」(平成24年12月10日)より



大月町では**震度5強～震度7**の揺れが想定されています。この規模の揺れでは、補強されていないブロック塀が崩れたり、家具の転倒、耐震性の低い木造建物は傾いたり倒れたりします。また大きな地割れが生じたり、土砂災害が発生することがあります。

大月町で想定される災害

大月町では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に、**震度5強～震度7**の揺れが想定されています。地震の際には、揺れに伴う**地盤の液状化・火災・建物倒壊・津波・土砂災害・ため池はん濫**といった様々な災害が発生するおそれがあります。

本防災マップでは、津波を中心として、土砂災害・ため池はん濫についての情報も考慮にいれて作成されています。

※土砂災害・ため池はん濫は、台風や短時間に激しく降る大雨(ゲリラ豪雨)など雨が降り続く場合にも発生する可能性があります。

■「地震のあと」に想定される災害

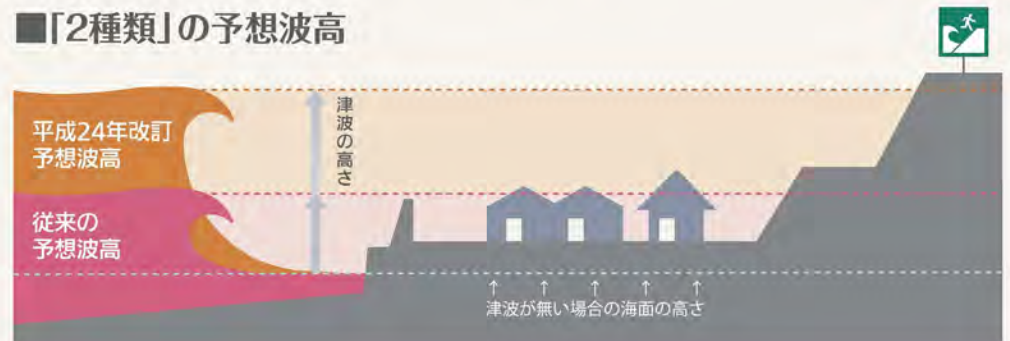


本防災マップの津波想定

本防災マップでは、平成24年12月改訂の最大クラスの地震・津波に比べ発生頻度の高い「安政南海地震の規模」(マグニチュード8.4相当)を、最新の地形地盤データにより再度推計した「**従来の予想波高**」と、「**平成24年改訂予想波高**」の2種類を表示しています。

最大クラスの地震・津波の発生率は極めて低いとされていますが、想定外を避けるためにも起こり得るという事を念頭において備える必要があります。

■「2種類」の予想波高



■従来予想波高と改訂予想波高との比較 (抜粋)

地区	従来予想波高	平成24年改訂予想波高	地区	従来予想波高	平成24年改訂予想波高
大浦	7.0m	22.0m	柏島	2.9m	13.0m
西泊	4.5m	19.0m	泊浦	5.2m	14.0m
古満目	6.6m	25.0m	馬路	0.0m	12.0m

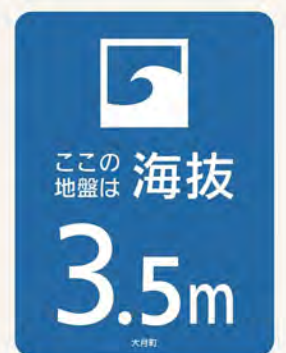
※従来予想の数値は、高知県作成データ(津波防災アセスメント補完調査：平成17年5月)による安政南海地震(マグニチュード8.4相当)を基に記載しています。

※改訂予想の数値は、集落付近の沿岸から2メッシュ(20m)沖での津波高です。ただし、馬路地区の数値は内陸部へ遡上した津波高を記載しています。なお、場所によってはこの数値より高くなる場合があります。

■大月町における取り組み

大月町では、平成24年の地震・津波想定改訂を受け、**沿岸部地区の電柱などに、「海拔サイン」を設置しました。**

本防災マップの配布により、各地域の浸水想定を把握していただくとともに、右の海拔サインを設置することで、常日頃から住民自らが海拔(標高)表示を目にし、各集落において自分のいる場所の海拔(標高)を認識できるようにしています。津波発生の際にどの高さまで避難が必要かを確認しましょう。



海拔サイン

南海トラフ巨大地震津波から生き抜くために...

ゆれたら

長い揺れや強い揺れの後には必ず津波が来ると思って下さい。揺れがおさまってきたらすぐに避難をしましょう。

とにかく

津波警報や津波注意報の発表を待たず、身一つで。(メガネ、葉、携帯ラジオ、懐中電灯など避難するのに必要なものは、すぐ持ち出せるようにしておきましょう。)

いそいで

近くの高台や津波避難場所へ早く逃げましょう。原則、車は使用せずに走って逃げてください。(渋滞に巻き込まれたり、車のカギを探したりして逃げ遅れる可能性があります。)

逃げましょう!

南海地震のような大地震の場合、高知県内全域で同時に大きな被害が発生することが予想されています。このため、全ての地域での消防機関などによる避難誘導や人命の救助などは困難です。まずは「自分の命は自分で守る!」という事が大切です。



大月町に津波が来るまで
地震発生から
同時または

5分!!

揺れの対応

■ まずは身の安全確保

揺れを感じたら、丈夫なテーブルや机の下に身を隠し、安全を確保しましょう。風呂場・トイレ等は比較的安全です。

■ 出口の確保と冷静な行動を

揺れによって、出入り口が開かなくなる場合があるため、ドア等を開けて逃げ口を確保します。急いで飛び出すと瓦等の落下物があり大変危険です。

■ 狭い路地や塀・川べりは避けて

狭い路地では、看板等の落下物やたれ下がった電線、また、ブロック塀や門柱、自動販売機等は倒れやすいので危険です。近づかないようにしましょう。

■ 火が出たら、すばやく消火

火が消せる時はすばやく、余裕がない時はまず身の安全を確保し、状況を見て火の始末を。万一出火しても天井に燃え移る前なら、初期消火は可能です。「火事だ!」と大声をだして隣近所に応援を求めるとともに、消火に努めましょう。

津波の特徴

津波の速さはジェット機並み!

水深が4000~5000mの深海では、津波が太平洋を伝わる速さは、ジェット機並みになります。海岸近くでも秒速10m程度の速さのため、津波が見えてからではとても逃げきれません。

津波は繰り返し襲ってくる!

津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。また、1回目が最も大きいとは限りません。1回目で安心せずに、波が落ち着くまで注意し、警報・注意報が解除されるまで海岸に近づかないようにしましょう。

川も水路も溢れながら、さかのぼる!

津波は、河川や水路などに沿って遡上します。内陸深くまでさかのぼり、河川の堤防を越えて市街地や田畑が浸水することがあります。



津波の高さは想像を超える!

津波の高さは海岸の地形などに大きく左右されます。沿岸での津波の高さが1mでも、津波の遡上はその数倍から場合によっては10倍程度の高さになり、大きな被害をもたらします。

ひざ上の高さでも人は立ってられない!

50cmの津波でも車が流される危険性があります。数十cmの津波でも人間は簡単に流されてしまい、命を失う可能性もあります。津波が到達するまでに早期の避難が必要です。

引き潮がなくても津波は襲ってくる!

津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。地震の起こり方や、震源付近の地形によっては、引き潮が起こらないこともあります。



防災マップ地区割

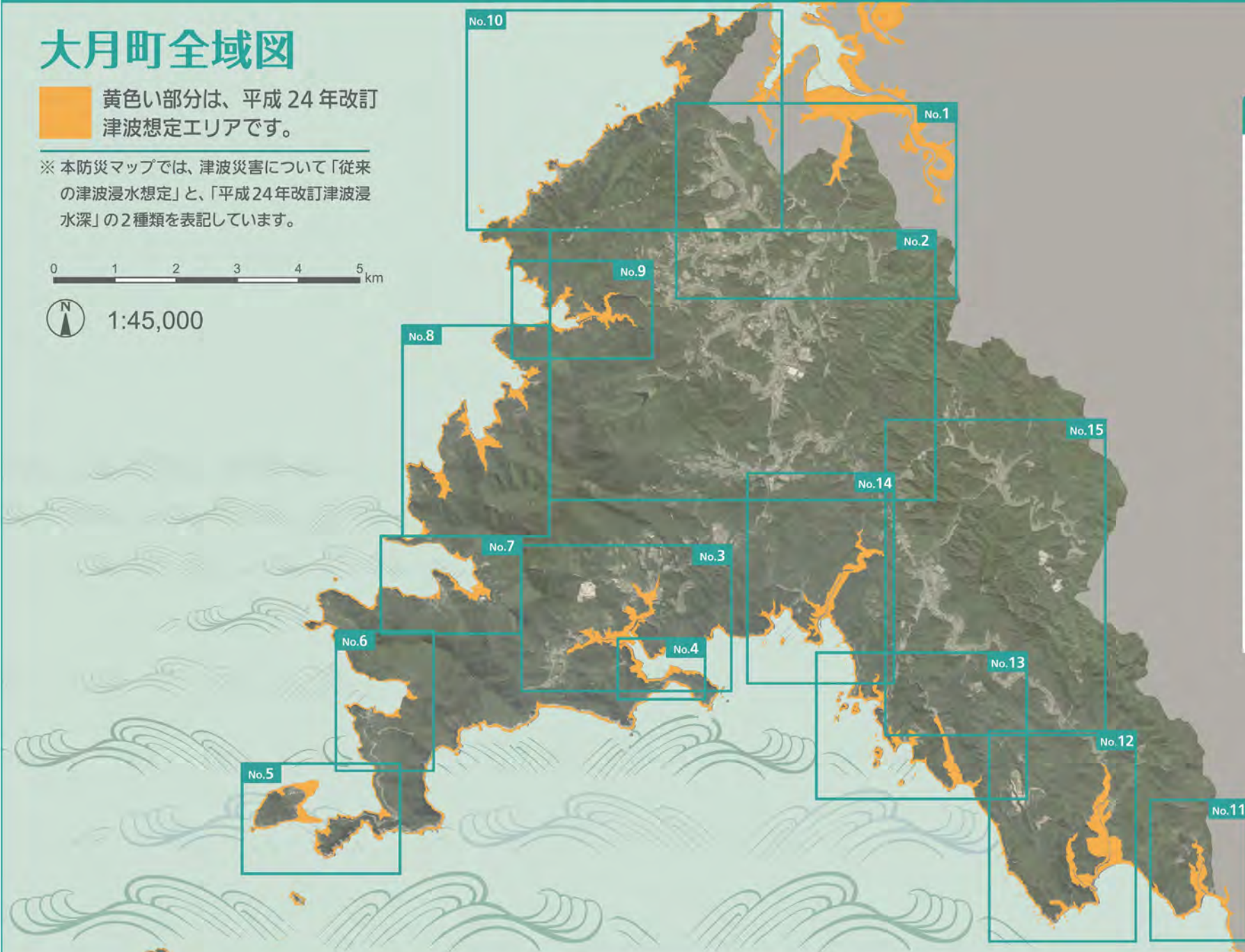
大月町全域図

黄色い部分は、平成24年改訂津波想定エリアです。

※本防災マップでは、津波災害について「従来の津波浸水想定」と、「平成24年改訂津波浸水深」の2種類を表記しています。

0 1 2 3 4 5 km

1:45,000



避難先図記号の意味

- 津波避難場所
津波に対しての安全な避難場所（高台）
- 緊急避難場所
指定された広域避難場所又は避難場所
- 緊急避難所（建物）
災害時安全な避難所（建物）
- 長期
津波避難者の受け入れ施設
- 拠点
津波浸水想定地区の中心的避難所
- アンダーパス
鉄道や、道路の下を通る地下道。くぐり抜け式通路。
立体交差で、掘り下げ式の下になっている道路で、内水はん濫時に冠水し、事故や災害を引き起こす危険な場所とされる。

No. 1 馬路 / 田城 / 添ノ川 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
馬路		旧大月町清掃センター（拠点） 墓地	
田城		芝岡忠彰邸付近 谷タバコ乾燥場	
添ノ川		田城集会所 添ノ川集会所	

No. 2 成畑 / 芝 / 本田 / 郷 / 亀尾 / 長沢 / 地吉 / 笠木 / 大駄場 / 清王 / 鉾土 / 内平 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
成畑		谷和典タバコ乾燥場 谷建設倉庫	
芝		弘見体育館（旧弘見小学校）●	
本田		弘見体育館（旧弘見小学校）●	
郷		弘見体育館（旧弘見小学校）●	
亀尾		弘見体育館（旧弘見小学校）●	
長沢		大月分校 亀尾集会所	
地吉		大月分校 笠木集会所	
笠木		大月分校 笠木集会所	
大駄場		大駄場集会所	
清王		加藤宅前 清王集会所	○
鉾土		大月病院 鉾土集会所	
内平		宮崎牧場付近 旧芳ノ沢小学校（グラウンド）	

No. 3 頭集 / 平山 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
頭集		田中一利邸付近 頭集老人憩の家（拠点） 宮崎克明宅裏山 平山避難所	
平山		ふれあい公園（拠点） 平山避難所 山下邸付近	

No. 4 古満目 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
古満目		忠魂草場 八幡宮 あじろ山（拠点） 遠見山 天満宮	

No. 5 柏島 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
柏島		旧柏島小学校（拠点） 田中さんの畑 山の神	

No. 6 一切 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
一切		バス駐車場 旧一切小学校体育館（拠点） 中野正史宅上 ダイビング中山上	

No. 7 安満地 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
安満地		竜宮山 旧安満地小学校（拠点） お寺 釜ノ谷 中山 蜂の巣防火水槽	

No. 8 橋浦 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
橋浦		高望山 今池 エビス鼻 寺屋敷（拠点）※平成26年度完成予定 宮山 奥 坂本宅上 赤岸 水源池 地吉道 山本宅上	

No. 9 泊浦 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
泊浦		ムネン峠（拠点） 竜王山 山口宅の上 クボタ	

No. 10 本村 / 龍ヶ迫 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
本村		地藏バチ降り口 タツチ入口 白皇神社 坂本谷入口	
龍ヶ迫		龍ヶ迫集会所（拠点）	○

No. 11 小才角 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
小才角		西ホドオカ 地藏山（拠点） 貯水槽 コンピラ宮 脇ノ川	

No. 12 才角 / 月ヶ丘 / 大浦 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
才角		才角第一避難所 才角第二避難所 才角第三避難所（拠点） 才角第四避難所 才角第五避難所 才角第六避難所 才角第七避難所	
月ヶ丘		国営農地分岐点 配水タンク付近（拠点） 休場	
大浦		巾着山 中地 倉ヶ谷 タビラ	

No. 13 赤泊 / 西泊 / 榎ノ浦 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
赤泊		上ヶ市 音無神社（拠点）	
西泊		旧榎西小学校（拠点） 金刀比羅宮 中山造成地 旧榎西小学校（拠点）	
榎ノ浦		お大師さん 岩越正友宅裏山 奥田学美さんの畑	

No. 14 周防形 地区

地区名	種類	避難所名	アンダーパス
周防形		エコロジーキャンプ場 ホテルベルリーフ 岩井崎 サカントウ 西平山 焼野 東平山墓地所 ※平成26年度完成予定 東平山 白皇山（拠点）※平成25年度完成予定 長谷道 ※平成25年度完成予定	

No. 15 姫ノ井 / 唐岩 / 春遠 地区

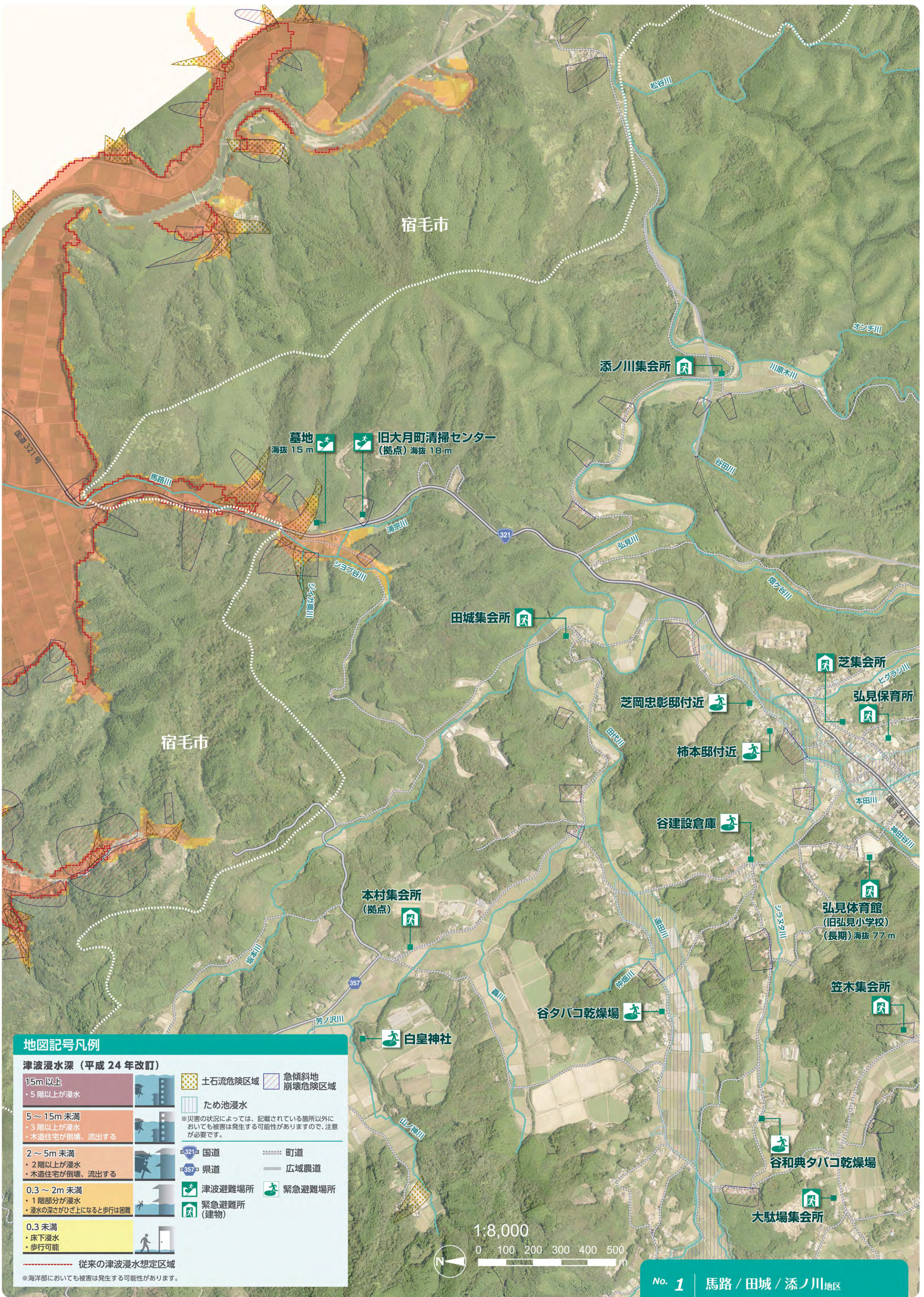
地区名	種類	避難所名	アンダーパス
姫ノ井		東部グラウンド ふる里センター 姫ノ井体育館（旧姫ノ井小学校）●	○
唐岩		東部体育館（旧月瀬中学校）● 老人福祉センター	
春遠		唐岩集会所 西福島 エノキ谷 キシャク段 大久保邸付近	

長期避難所（津波避難者の受け入れ施設）

所在地	種類	避難所名	地図No.
弘見		弘見体育館（旧弘見小学校） 大月小学校体育館	1, 2
姫ノ井		大月中学校体育館 姫ノ井体育館（旧姫ノ井小学校） 東部体育館（旧月瀬中学校）	2 15

各地区避難所一覧

（平成25年3月31日現在）



地図記号凡例

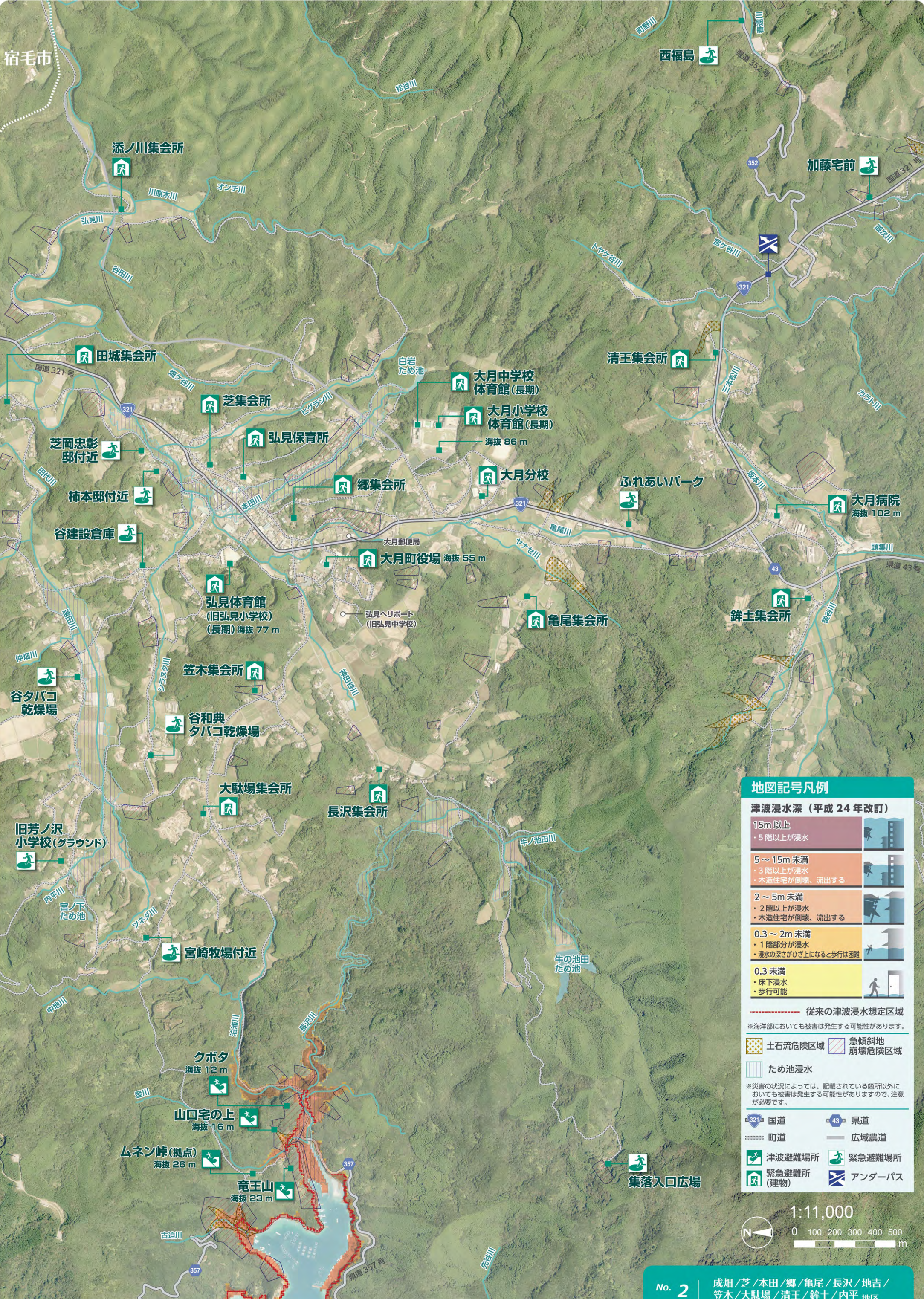
津波浸水深 (平成 24 年改訂)

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

土石流危険区域	急傾斜地崩壊危険区域
ため池浸水	<small>※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。</small>
国道	町道
県道	広域農道
津波避難場所	緊急避難場所
緊急避難所 (建物)	

----- 従来の津波浸水想定区域
※海洋部においても被害は発生する可能性があります。





地図記号凡例

津波浸水深（平成 24 年改訂）

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

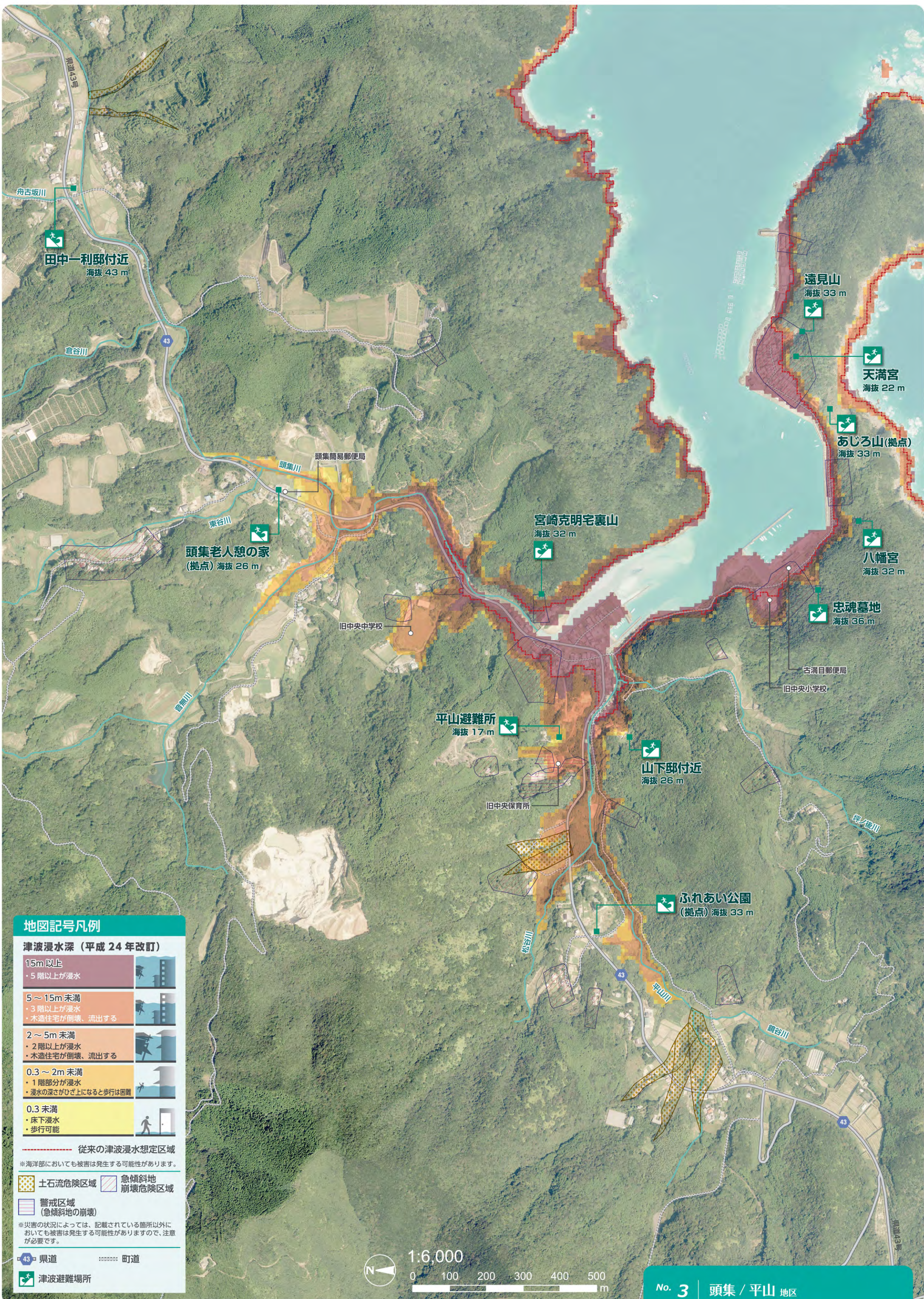
----- 従来の津波浸水想定区域
 ※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

土石流危険区域 急傾斜地崩壊危険区域

ため池浸水
 ※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

- 321 国道
- 43 県道
- 町道
- 広域農道
- 津波避難場所
- 緊急避難場所
- 緊急避難所 (建物)
- アンダーパス



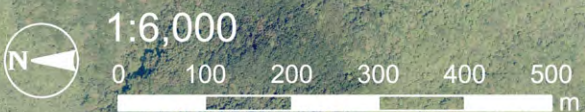


地図記号凡例

津波浸水深 (平成 24 年改訂)

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

- 従来の津波浸水想定区域
- ※海洋部においても被害は発生する可能性があります。
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険区域
- 警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- ※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。
- 県道
- 町道
- 津波避難場所



地図記号凡例

津波浸水深 (平成 24 年改訂)

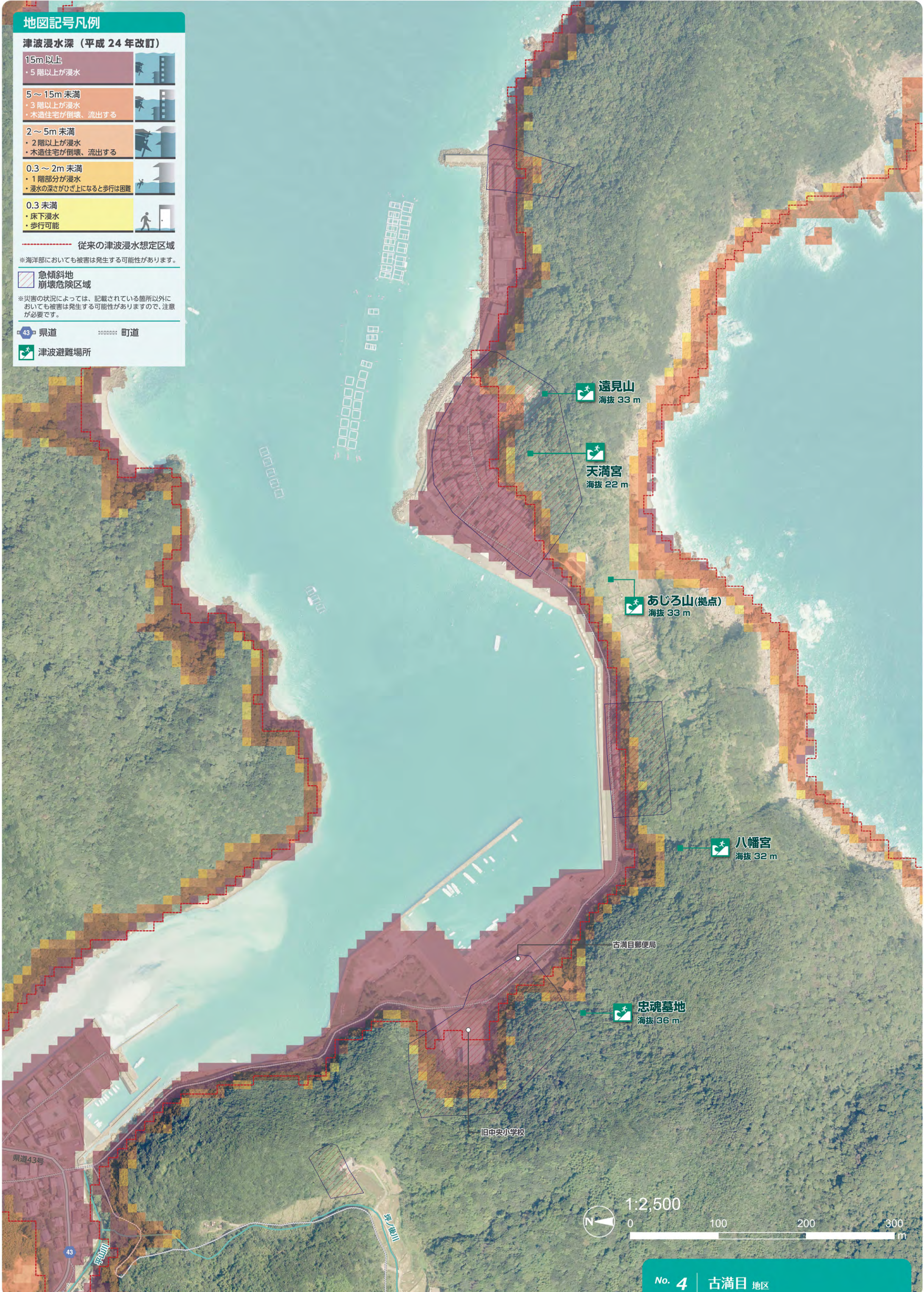
15m以上 ・5階以上が浸水	
5～15m未満 ・3階以上が浸水 ・木造住宅が倒壊、流出する	
2～5m未満 ・2階以上が浸水 ・木造住宅が倒壊、流出する	
0.3～2m未満 ・1階部分が浸水 ・浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3未満 ・床下浸水 ・歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域
※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

急傾斜地
崩壊危険区域
※災害の状況によっては、記載されている箇所以外
においても被害は発生する可能性がありますので、注
意が必要です。

県道 町道

津波避難場所



地図記号凡例

津波浸水深（平成24年改訂）

15m以上 ・5階以上が浸水	
5～15m未満 ・3階以上が浸水 ・木造住宅が倒壊、流出する	
2～5m未満 ・2階以上が浸水 ・木造住宅が倒壊、流出する	
0.3～2m未満 ・1階部分が浸水 ・浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3m未満 ・床下浸水 ・歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域

※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

急傾斜地
崩壊危険区域

※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

県道

..... 町道

津波避難場所



地図記号凡例

津波浸水深（平成 24 年改訂）

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域
※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

土石流危険区域 急傾斜地崩壊危険区域
※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

43 県道 町道

津波避難場所



1:4,000



地図記号凡例

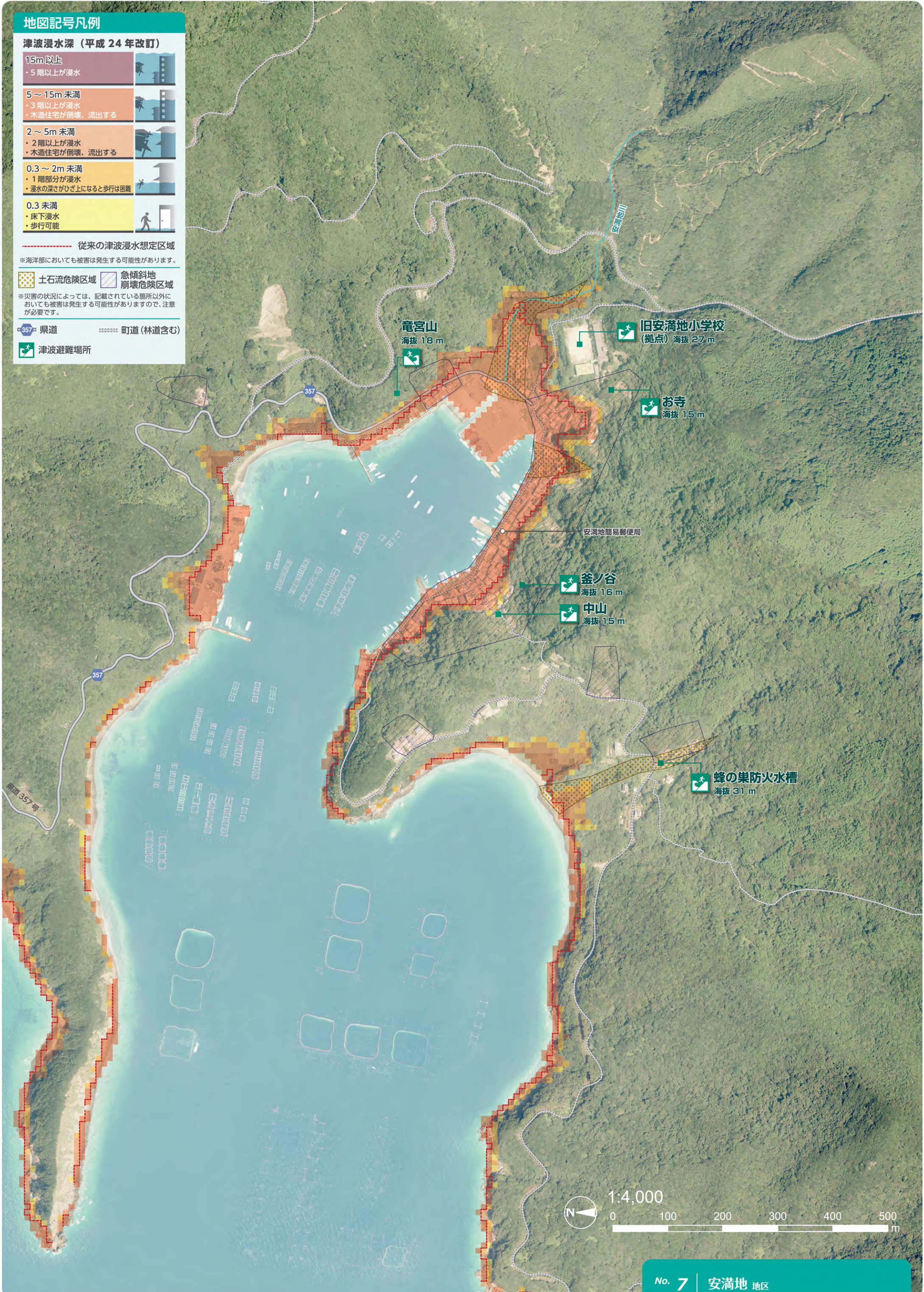
津波浸水深 (平成 24 年改訂)

15m 以上	
5 ~ 15m 未満	
2 ~ 5m 未満	
0.3 ~ 2m 未満	
0.3 未満	

----- 従来の津波浸水想定区域
※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

土石流危険区域 急傾斜地崩壊危険区域
※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

県道 町道 (林道含む)
 津波避難場所



地図記号凡例

津波浸水深（平成 24 年改訂）

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域

※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

土石流危険区域 急傾斜地崩壊危険区域

※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

県道 町道

津波避難場所



地図記号凡例

津波浸水深（平成 24 年改訂）

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域

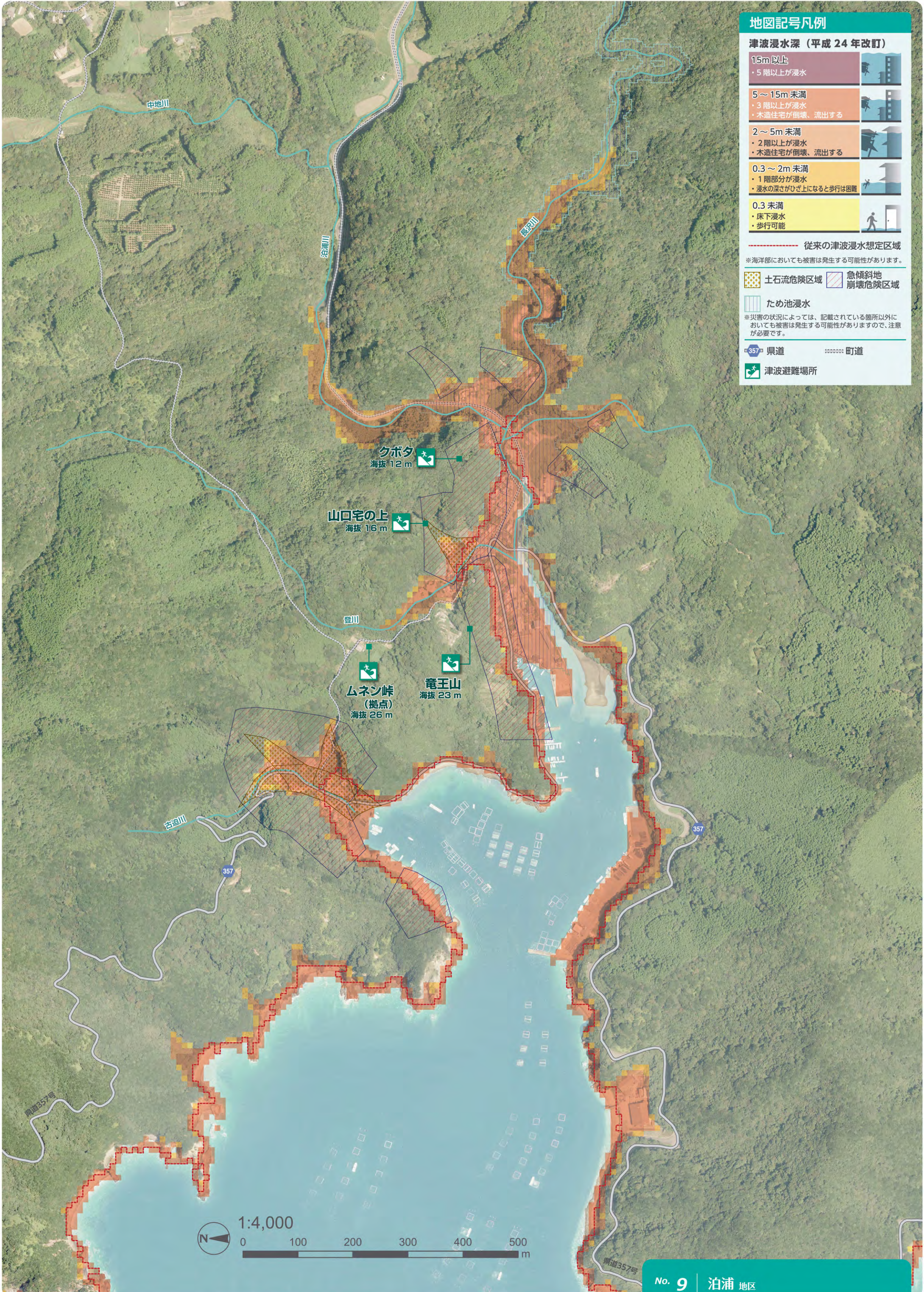
※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

土石流危険区域 急傾斜地崩壊危険区域

ため池浸水
※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

県道 町道

津波避難場所





地図記号凡例

津波浸水深 (平成 24 年改訂)

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

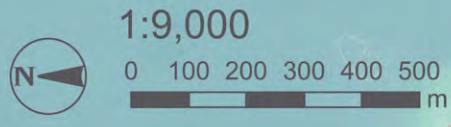
----- 従来の津波浸水想定区域

※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険区域
- アンダーパス

※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

- 357 県道
- 町道
- 津波避難場所
- 緊急避難場所
- 緊急避難所 (建物)



地図記号凡例

津波浸水深（平成 24 年改訂）

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域

※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

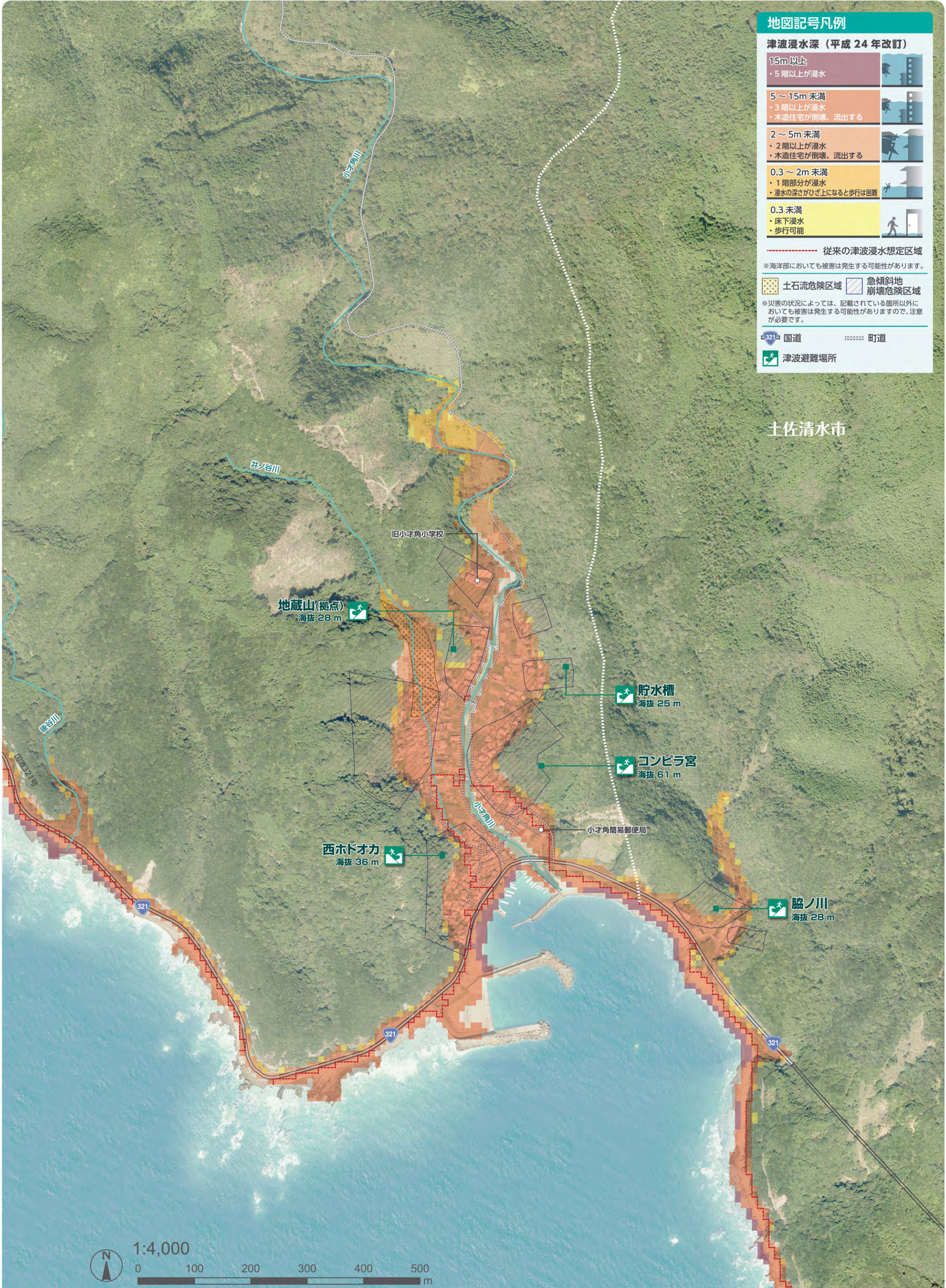
土石流危険区域 急傾斜地崩壊危険区域

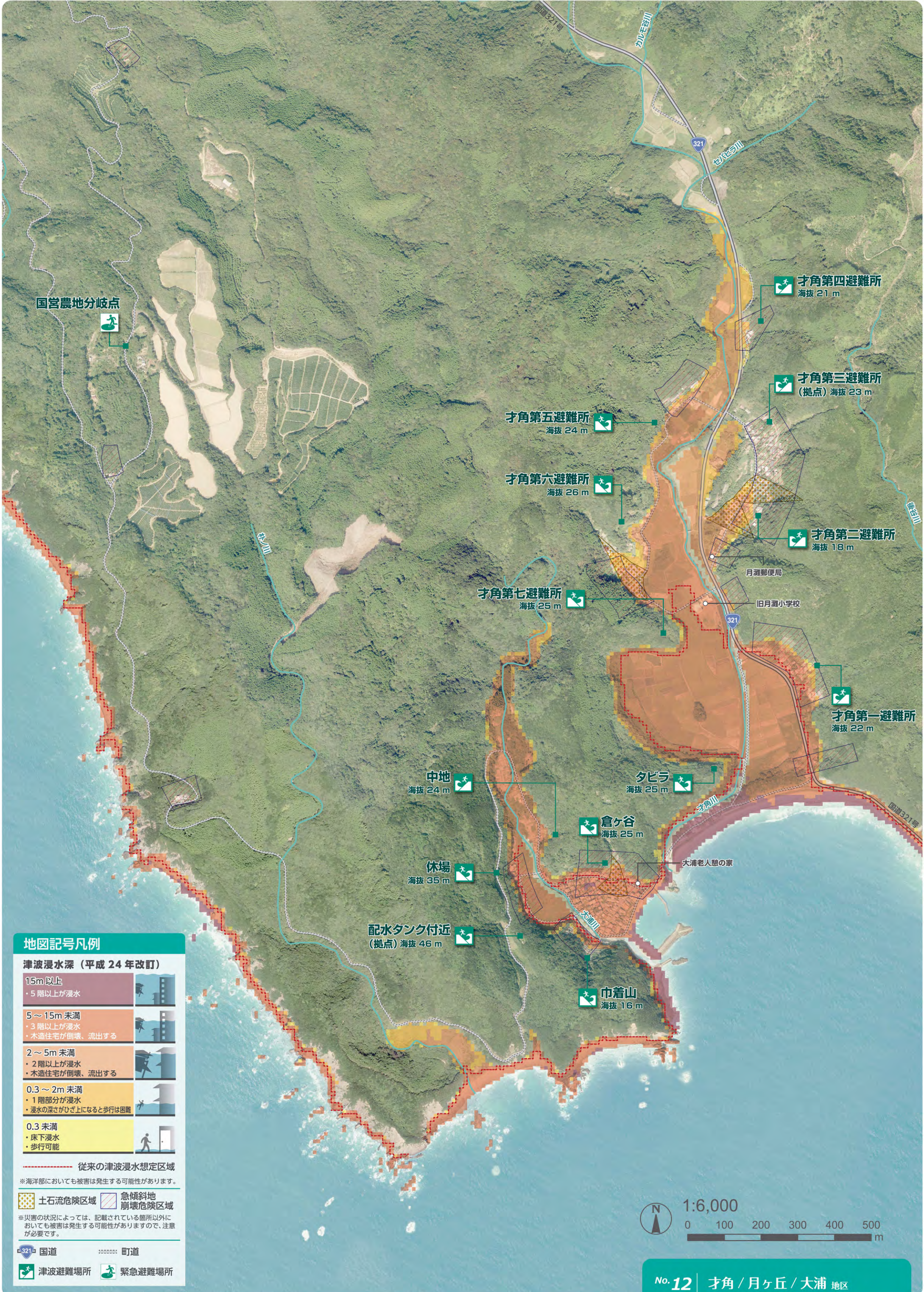
※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

国道 町道

津波避難場所

土佐清水市





国営農地分岐点



才角第四避難所
海拔 21 m

才角第三避難所
(拠点) 海拔 23 m

才角第五避難所
海拔 24 m

才角第六避難所
海拔 26 m

才角第二避難所
海拔 18 m

才角第七避難所
海拔 25 m

才角第一避難所
海拔 22 m

中地
海拔 24 m

タビラ
海拔 25 m

倉ヶ谷
海拔 25 m

休場
海拔 35 m

配水タンク付近
(拠点) 海拔 46 m

巾着山
海拔 16 m

地図記号凡例

津波浸水深 (平成 24 年改訂)

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域
※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

土石流危険区域 急傾斜地崩壊危険区域
※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

国道 町道
 津波避難場所 緊急避難場所





老人福祉センター
 東部体育館 (旧月灘中学校) (長期) 海拔 53 m

国営農地分岐点

東部グラウンド 海拔 53 m

つきなだ保育所

姫ノ井体育館 (旧姫ノ井小学校) (長期) 海拔 75 m

上ヶ市 海拔 24 m

音無神社(拠点) 海拔 30 m

中山造成地 海拔 28 m

お大師さん 海拔 35 m

金刀比羅宮 海拔 21 m

岩越正友宅裏山 海拔 19 m

奥田学美さんの畑 海拔 21 m

旧榎西小学校 (拠点) 海拔 31 m

地図記号凡例

津波浸水深 (平成 24 年改訂)

15m以上	・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満	・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満	・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満	・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満	・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域
※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

	土石流危険区域		警戒区域 (土石流)
	急傾斜地 崩壊危険区域		警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

	国道		町道
	津波避難場所		緊急避難場所
	緊急避難所 (建物)		アンダーパス



地図記号凡例

津波浸水深 (平成 24 年改訂)

15m 以上 ・ 5 階以上が浸水	
5 ~ 15m 未満 ・ 3 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
2 ~ 5m 未満 ・ 2 階以上が浸水 ・ 木造住宅が倒壊、流出する	
0.3 ~ 2m 未満 ・ 1 階部分が浸水 ・ 浸水の深さがひざ上になると歩行は困難	
0.3 未満 ・ 床下浸水 ・ 歩行可能	

----- 従来の津波浸水想定区域

※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

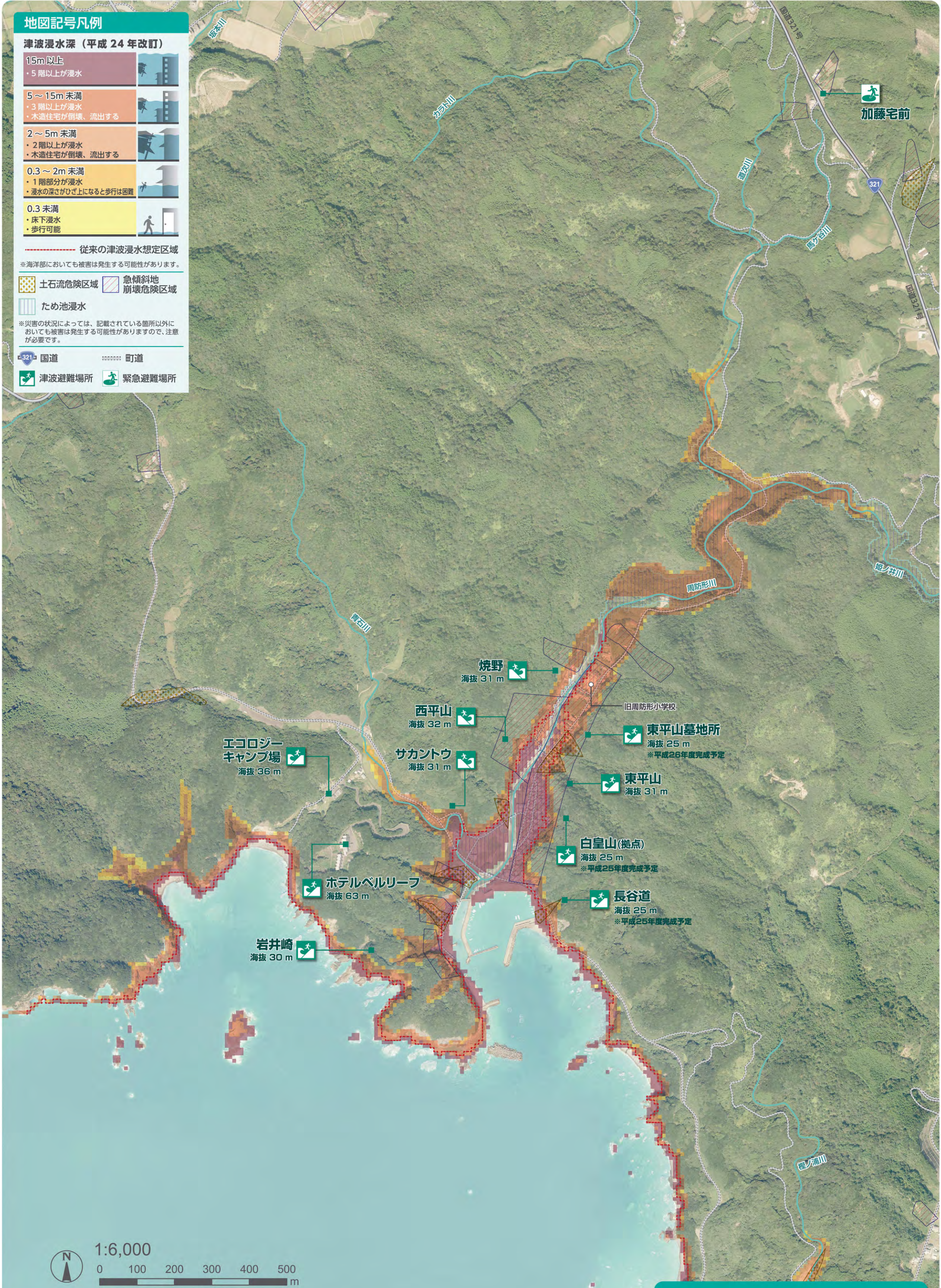
土石流危険区域 急傾斜地崩壊危険区域

ため池浸水

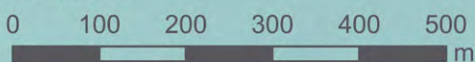
※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

国道 町道

津波避難場所 緊急避難場所



1:6,000



地図記号凡例

津波浸水深 (平成 24 年改訂)

15m 以上	
5 ~ 15m 未満	
2 ~ 5m 未満	
0.3 ~ 2m 未満	
0.3 未満	

従来津波浸水想定区域

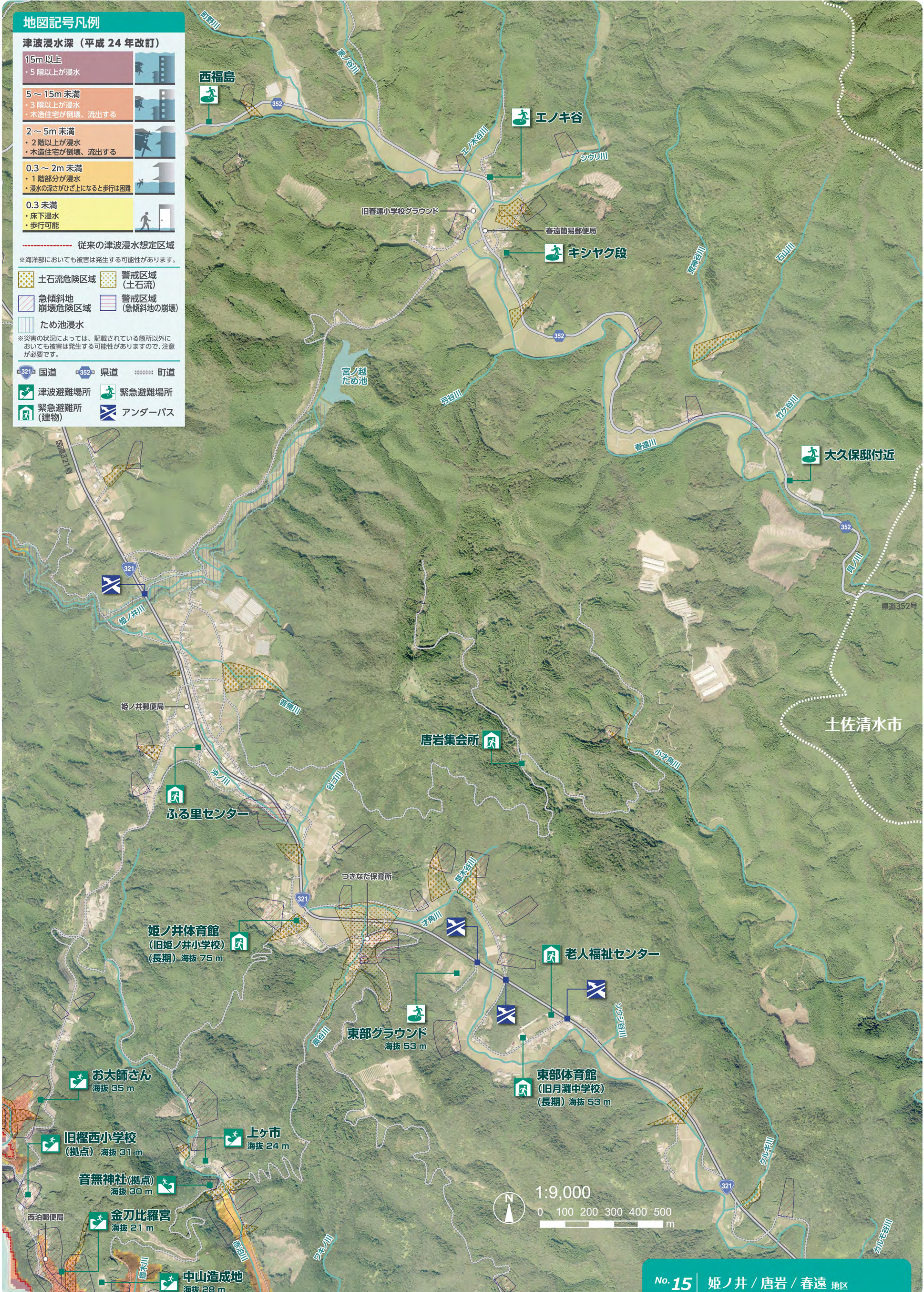
※海洋部においても被害は発生する可能性があります。

	土石流危険区域		警戒区域 (土石流)
	急傾斜地崩壊危険区域		警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

ため池浸水
※災害の状況によっては、記載されている箇所以外においても被害は発生する可能性がありますので、注意が必要です。

321 国道 352 県道 町道

	津波避難場所		緊急避難場所
	緊急避難所 (建物)		アンダーパス



津波以外の災害について

地震の特徴

予想されている震度階級
気象庁震度階級関連解説表より作成。震度階級0～5弱は記載を省略


震度5強

- 物につかまらなさと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。




震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は瓦が落下したり、建物に傾いたりすることがある。倒れるものもある。



震度6強

- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、土砂災害が発生することがある。
- 這わないと動くことが出来ない。飛ばされることもある。









震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では倒れるものが増える。



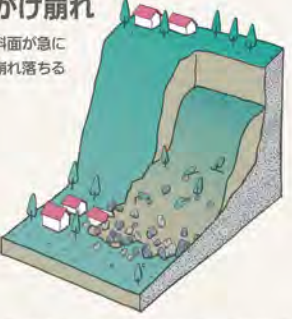


家具の転倒・落下物の防止対策（器具などの設置例）

L字金具  L字型をしており、家具の天板部と壁の中の横や縦筋などにネジで固定します。	ベルト・チェーンタイプ  チェーンやベルト状の器具で家具の側板部と壁の中の横や縦筋などをネジで固定します。	つっぱり棒  天井と家具の天板との間につっぱり棒を入れて固定します。
粘着マット  粘着力や弾力のあるマットを、テレビや家具の下に敷き、固定します。	開き戸固定器具  開き戸に掛金やチェーンなどを取付け、揺れによる扉の開放と食器の飛び出しを防ぎます。	ガラス飛散防止フィルム  窓ガラスや食器棚のガラス面に貼り付け、割れたガラスが飛び散るのを防ぎます。

*家具転倒防止器具は、確実に固定することが大切です。ここに紹介した以外の方法で家具を固定する器具も市販されています。

土砂災害の特徴

地震による揺れや、大雨・長雨により山沿いや山間部では、土砂災害の危険性が高まります。

がけ崩れ 斜面が急に崩れ落ちる。 	土石流 大量の土砂や石が一瞬にして流れ落ちる。 	地すべり 緩やかに滑り落ちる。 
--	--	--

地震や大雨、長雨により大量の水分が地面に染み込み、緩くなった斜面が瞬時に崩れ落ちる。

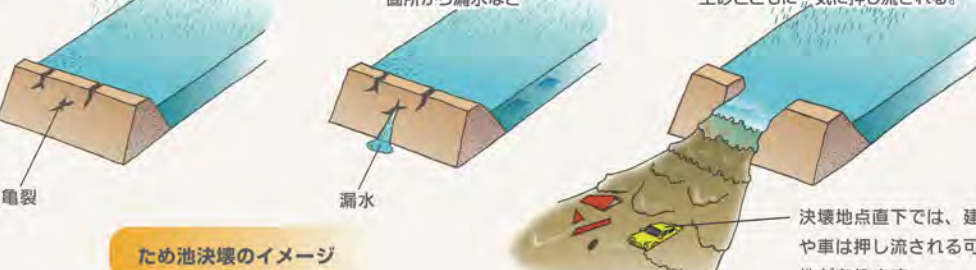
地震や集中豪雨等により水を含んだ土砂や石が谷沿いに津波のごとく流れ落ちる。

粘土質等の滑りやすい土質を境に上部の路面が地震や大雨等の原因で滑り落ちる。

ため池はん濫について

地震の揺れによる堤防の破損や、大雨・長雨の増水により、ため池はん濫の危険性が高まります。

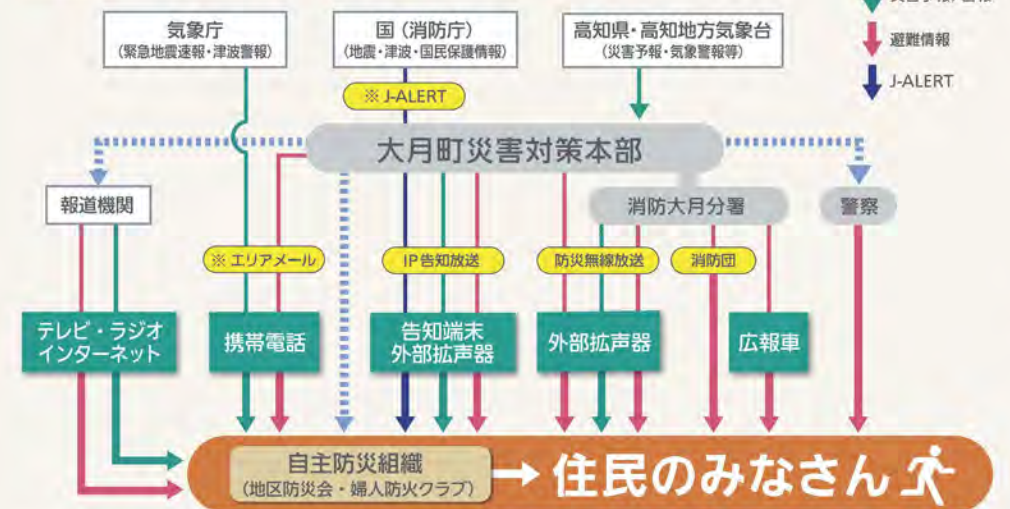
- 大規模地震により堤防破損、大雨で増水**
…亀裂や堤防前面の滑落など
- 大雨等でため池の水位低下が困難**
…亀裂や堤防前面の滑落箇所から漏水など
- 破損した堤防が貯水に耐えきれず「決壊」**
…堤防破損箇所が脆くなり、水が土砂とともに一気に押し流される。



ため池決壊のイメージ

決壊地点直下では、建物や車は押し流される可能性があります。

避難情報の伝達経路



※エリアメール (緊急速報メール) 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、市町村が発信する災害・避難情報などを受信する事ができる。対象エリアにいる方に対して一斉に伝達することが出来る無料携帯電話サービス。

※J-ALERT (全国瞬時警報システム) 大規模な地震や他国からの武力攻撃など、対処に時間的余裕のない危機発生時に、国から人工衛星を介して、市町村及び住民に迅速に緊急情報を伝達するシステム。

SOS いざという時の連絡先

「公共」の連絡先

消防	☎ 119 (緊急)	大月分署	☎ 73-1313
警察	☎ 110 (緊急)	弘見駐在所	☎ 73-0132
		姫ノ井駐在所	☎ 74-0034
大月町役場	☎ 73-1111	NTT	☎ 113 (携帯用: 0120-444-113)
大月病院 (救急)	☎ 73-1300	四国電力	☎ 63-2177

「家族・親戚等」の連絡先

家族 (親戚・知人など) の名前	電話番号 (会社・学校・携帯)	メールアドレス

家族の安否を確認する方法

大災害時には電話は混線し、通話が出来なくなる可能性が高くなります。いざという時に慌てないよう通話以外の安否確認方法をあらかじめ確認し、使えるようにしておきましょう。

災害用伝言板 ネット接続できる携帯電話 (ネット) 携帯電話各社は災害用伝言板を災害時に用意しています。ご利用の携帯会社の災害時のサービスを調べておきましょう。	Web171 (災害用伝言板) ネット接続できるパソコン/スマートフォン/タブレット web171のホームページにアクセスし、電話番号を入力し安否確認をします。安否確認を取りたい人の電話番号を携帯電話の中だけに保存するのではなく手帳や本マップの防災メモなどにも書いておきましょう。	171 (災害用伝言ダイヤル) 固定電話 / 携帯電話 (音声) 固定電話でも携帯電話でも利用可能で、最大30秒まで伝言を吹き込めるサービスです。※大災害時には音声通話が制限される可能性があります。
---	---	--

非常持ち出し品

いざという時のために、日頃から最小限の非常持ち出し品を用意し、両手が空くリュックサックなどに入れておきましょう。また、準備した非常持ち出し品を地域の防災訓練の際に活用しましょう。

必ず必要となるもので、食料や水を3日分は用意しましょう

 3日分程度の食料や水	 情報収集に必要なラジオ、携帯電話、夜間の避難に必要なライト	 常備薬などの医薬品	 当面の衣類、タオル、ウェットティッシュ
 頭部を守るためのヘルメット、防災ずきん	 乳幼児がいる家庭ではオムツ、ほ乳瓶	 貴重品 (免許証や健康保険証のコピー、現金、通帳、印かん)	その他 ・軍手 ・メガネ ・ライター ・予備乾電池など

避難生活に必要なもの (二次持出品) も、余裕があれば用意しましょう